

発行所

株式会社FPシミュレーション

大阪市中央区平野町3-1-10 Tel :06-6209-7678

編集発行人:税理士 三輪 厚二 Fax :06-6209-8145

今年度の路線価

Q : 先月、今年度の路線価が発表されたようですが、今年はどうな感じだったのですか？

A : 全国平均では若干下がりましたが、東京都では上昇に転じています。

【解説】

先月の1日、全国の各国税局及び税務署、ホームページで路線価が公表されました。

今年度の全国平均額は、1㎡当たり11万2千円で昨年比▲4千円となっています。

平成5年分以降13年連続の下落ですが、下落率は前年の5.0%から1.6ポイント縮小した3.4%となっており、地価の下げ止まり傾向が見られるようになってきています。

しかし、その内訳を見ると、東京都で0.9%の上昇とわずかにプラスに転じているものの、地方では大幅に下落しているところもあり、下げ止まり傾向が見られるとはいえ、依然として地価は低迷しているといった状況になっています。

なお、今年度から、貸宅地の評価方法が一部改正され、貸宅地割合が定められた地域については宅地の自用地評価額に貸宅地割合を乗じて評価することとされたことから、どこにこの貸宅地割合が定められるのか注目されていましたが、今年度は沖縄の一部の地域だけに付されようです。しかし、借地権割合が3割、貸宅地割合が3割（つまり合計で自用地の6割）というこれまでの常識では考えられない設定がなされています。

